

-



大小原 利信 氏（日本産業カウンセラー協会 上信越支部 支部長）
総括：椎原 康史 氏（群馬大学大学院保健学研究科 教授）
閉会



＊平成24年度 群馬衛生管理者協議会総会・講演会・交流会

開催日時：平成24年12月12日（水）13:30～

場所：前橋テルサ 8階 けやきの間（前橋市千代田町 2-5-1）

次第

1 総会（13:30～）

2 講演会（14:15～）（一般の方の参加もできます）

演題 「労働行政の現状と今後の動向」

講師 寺村 裕司 氏（群馬労働局 労働基準部 健康安全課長）

3 交流会（15:25～）

班別討議 ・衛生管理者の役割と悩みについて

・メンタルヘルス対策について

・禁煙対策について

・健康診断結果と事後措置について

4 閉会



多数のご参加をお待ちしております。



産業保健相談事例のご紹介



産業保健推進連絡事務所では、産業保健に関する相談業務を実施しています。

当連絡事務所に寄せられた相談事例を紹介します。

Q. 派遣業社長からの相談、遠方企業に派遣している従業員の残業時間が100時間を超えている。本社には産業医がおり、長時間労働者への面接指導を実施している。遠方に派遣している従業員に対しても面接指導を実施したいと思うが、距離等の問題等があり産業医に依頼できない。また、従業員を面接のために本社へ呼ぶのも難しい。こういう場合どう対処すれば良いのか？

A. 残業は派遣先において発生した物であり、派遣先の責任において面接指導を実施してもらう。派遣先に産業医がいればその産業医に対応してもらう。派遣先が50人以下で産業医の選任がなければ地域産業保健センターに相談を。

産業保健セミナー(11・12月の予定)のご案内

当連絡事務所の産業保健セミナー(11・12月分)を掲載します。

受講料・教材費は無料です。

＊セミナーは、できるだけ計画通り実施したいと考えていますが、電力事情や会場等の都合により、研修の中止や日程・会場の変更をすることがあります。

☆お申し込み・詳細につきましてはホームページをご覧ください☆

⇒ <http://www.gummasanpo.jp/seminar/index.html>

(申し込みいただいた後の変更については、連絡先がはっきりしている方には、連絡事務所からご連絡いたします。)

日 程	テーマ	開催場所
☆産業医研修		
11月 8日(木)	『 質問紙THIによる心の健康チェック実演 』	前橋
12月 5日(水)	平成 24 年度群馬職域メンタルヘルス交流会 『 産業現場が抱える発達障害の問題とその対応 』	前橋
12月13日(水)	『 職場復帰困難事例への対応 』	前橋
☆メンタルヘルス対策セミナー		
11月 7日(水)	『 メンタルヘルス不調者の検討 』	前橋
11月12日(月)	『 「こころ」を理解するカウンセリング 』	前橋
11月14日(水)	『 対話法について(対話の会の体験) 』	前橋
11月27日(火)	『 カウンセリング(中級)「認知行動療法」 ～事例研究～ 』	前橋
12月 5日(水)	平成 24 年度群馬職域メンタルヘルス交流会 『 産業現場が抱える発達障害の問題とその対応 』	前橋
12月 7日(金)	『 最近の『うつ』への対応 ～仕事の与え方、休ませ方、復職への配慮～ 』	前橋
12月14日(金)	『 メンタルヘルスと家族の連携 』	大泉

12月17日(月)	『 管理者に求められるラインケアとセルフケア 』	前橋
☆健康保持増進対策セミナー		
11月 1日(木)	『 健康診断の事後措置 』	前橋
11月21日(水)	『 職場の消化器疾患 』	前橋
☆作業環境管理対策セミナー		
11月30日(金)	『 社内における労働衛生教育のすすめ方 』	前橋
☆法令解説		
12月 4日(火)	『最近の労働衛生関係法令の動向 』	前橋
12月12日(水)	平成 24 年度群馬衛生管理者協議会講演会 『 労働行政の現状と今後の動向 』	前橋



10月のセミナー結果



◎産業医研修

テ ー マ : 『有機溶剤使用場所の管理の為の測定機器の使用実習』

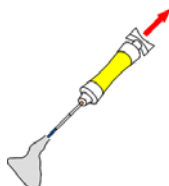
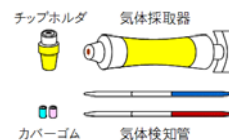
開催日時 : 10月11日(木)15:00～17:00

会 場 : 群馬県公社総合ビル 1階東研修室

講 師 : 大澤 武克 氏(群馬産業保健推進連絡事務所 衛生工学担当相談員)

参 加 者 : 21名

内 容 : 各事業所で使用されている溶剤は多種多様です。



近年、有機塩素系溶剤による胆管ガン等重大疾病の発生も問題視されています。管理を行う上で現場の溶剤濃度を把握しておくことは重要です。そこで、職場巡視の際に簡単に使用出来る機器について、その使用方法の説明を行い、実際に機器を使つての実習を行いました。

参加者からは「リスクに気づくことができるようになったと思う」「実際に機器に触れることができ良かった」等の意見を頂きました。

テ ー マ : 『糖尿病治療の最新知識』

開催日時 : 10月24日(木)15:00～17:00

会 場 : 前橋テルサ けやき



講 師：中村 保子 氏(群馬産業保健推進連絡事務所 産業医学担当相談員)

参 加 者：37名

内 容：次々と開発される糖尿病治療薬の出現で、糖尿病患者さんの QOL はかなり改善されています。多様化する糖尿病治療や、肥満治療の最新事情について糖尿病の専門医である講師の先生より分かり易くお話をさせていただきました。



参加者からは「現在の治療の動向がまとめられていて分かり易かった」「新しい知識が得られた」等の意見を頂きました。

◎メンタルヘルス対策セミナー

テ ー マ：『メンタルヘルス不全者の休職と職場復帰』

開催日時：10月5日(金)14:00～16:00

会 場：群馬県公社総合ビル 1階東研修室

講 師：椎原 康史 氏(群馬産業保健推進連絡事務所 メンタルヘルス担当相談員)

参 加 者：11名

内 容：近年、メンタルヘルス不調者対策は企業の労務人事管理において重要な課題になっています。

今回のセミナーではメンタルヘルス疾患での休職と職場復帰について、部下への安全配慮義務、専門医への受診と休養のすすめ、療養中および復職前後の対応、復職支援はなぜ必要か？うつ状態にある人への接し方などを具体的に解説していただきました。



参加者からは、「職場復帰までの取組について視野が広がった」「現場に即した内容で、今後職場で活かしていきたい」「具体的で実践的な内容が多く分かり易かった」等の意見を頂きました。



テ ー マ：『対話法について(事例と実習)』

開催日時：10月17日(水)14:00～16:30

会 場：群馬メディカルセンター2F セミナールーム

講 師：浅野 良雄 氏(対話法研究所 所長、当連絡事務所 相談員)

参 加 者：8名

内 容：9月に続き今回が2回目となる「対話法について」のセミナーです。

今回は講師が考案した「自分の考えや気持ちを言う(反応型応答)前に、相手が言いたいことの要点を、相手に言葉で確かめる(確認型応答)」という、「対話法」の原則の実践が有効であることについてお話いただき、事例とロールプレイを交えながら、対話のコツについて実習しました。



参加者からは、「実際に体験することで理解が深まった」「他の人の意見も聞けて良かった」「相談業務を行う上で信頼関係を築くのが重要で、その手法として対話法は有効と感じた」「相手が何を訴えたいのか、不安に思っているのかを聞き取る重要なポイントが分かった」等の意見を頂きました。



テ ー マ : 『カウンセリング(初級)「認知行動療法」』

開催日時 : 10月26日(金)14:00~16:00

会 場 : 群馬メディカルセンター2F セミナールーム

講 師 : 嶋方 喜斌 氏(カウンセリングルーム雨あがり 主宰)

参 加 者 : 16名

内 容 : 「人間のストレスは、出来事や事柄そのものに起因するのではなく、その出来事や事柄に対する考え方、受け止め方によるのです。」今、心の病への対応は「認知行動療法」が世界的な常識となっています。その中の「認知療法」を、事例を使って初めての人にも分かり易くお話していただきました。



参加者からは「色々な知識を得ることができた」「保健指導の視点が広がった」等の意見をいただきました。



◎健康保持増進対策セミナー

テ ー マ : 『インフルエンザ対策』

開催日時 : 10月4日(木)14:00~16:00

会 場 : 群馬県公社総合ビル 1階東研修室

講 師 : 藤田 晴康 氏(赤城病院 副院長、当連絡事務所 相談員)

参 加 者 : 10名

内 容 : 季節性インフルエンザに対するこれまでの対策を振り返り、評価と反省を行いながら、今後の発生が予想される「新型」インフルエンザに備える工夫についてお話していただきました。



参加者からは「冬に向けての職場のインフルエンザ予防対策が出来る」「対策に向けての資料収集ができた」「資料も分かり易く、解説も分かり易かった」等の意見をいただきました。



テ ー マ : 『高齢労働者の健康管理』

開催日時 : 10月30日(火)14:00~16:30

会 場 : 群馬メディカルセンター2F セミナールーム

講 師 : 倉富 雄四郎 氏(富士重工業(株)専属産業医)

参 加 者 : 8名

内 容 : 65歳までの再雇用義務化の流れの中で、人事制度の再構築も大問題ですが、産業保健の立場からも高齢労働者の職場への適応は重要な問題です。高齢労働者では避けて通れない、「疾病を抱えながら就業する」時代への対応、支援について、産業医の立場から分かり易くお話していただきました。



参加者からは「今後、企業にとっての課題となるテーマで参考になった」「身近な問題であり勉強になった」等の意見をいただきました。



関係機関の動き

1. 群馬県の平成 24 年労働者死傷病報告受理件数(平成 24 年 9 月末) ⇒
http://gunma-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/gunma-roudoukyoku/toukei/saigai/saigaitoukei_H24_2409.pdf
2. インターネット・オークションで取引されたバイク用ブレーキシュー等に石綿を含有する物が認められた ⇒
<http://chiba-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/chiba-roudoukyoku/houdou/houdou283.pdf>



11 月の声を聴き、長かった残暑が嘘のように朝晩はすっかり冷え込んできました。
山の木々も冬に向け彩を変えています。

まだ日差しがあると日中は温かく、活動するにはちょうどいい陽気です。
県内各所で紅葉の見ごろとなってきましたので、日頃の運動不足解消もかねて、紅葉の中をウォーキングしてみたいはいかがでしょうか。



＜＜群馬産業保健推進連絡事務所メール配信サービス解除、変更はこちらから＞＞

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

＜＜このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから＞＞

sanpo10@gummasanpo.jp

《発行元》群馬産業保健推進連絡事務所

電話:027-233-0026 FAX:027-233-9966